

# 防災に関する考え方について

---

# 防災に関する考え方について

## ■地震時

建物の倒壊、非構造部材の落下、転倒、移動



避難場所＝校庭、近隣の耐震性のある建物

耐震化が  
図られている建物 ＝ 地震動によって建物が  
倒壊する危険性 低

※慌てて建物の外へ飛び出すような行動は  
かえって危険

# 防災に関する考え方について

## ■火災時

学校からの出火、周辺の地域からの延焼・類焼



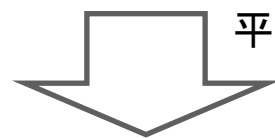
避難場所＝校庭・公園など広い空間、  
一時避難場所、広域避難場所

# 防災に関する考え方について

## ■地震発生後に起こる二次災害

- ・地域性
- ・自然的環境
- ・社会的環境
- ・施設の耐震化の有無

起こりやすさ  
変わる



平成24年3月 「学校防災マニュアル(地震・津波災害)  
作成の手引き」(文部科学省) より

**杉一小の立地と施設の特徴を鑑み  
地上校庭案・屋上校庭案それぞれに適した  
新施設の学校防災マニュアルの策定が必要**

# 防災に関する考え方について

## ①地震時

	地上校庭案	屋上校庭案
児童	校庭に一時避難 ↓ 建物の安全確認後 校舎内へ移動	<b>体育館へ避難</b> 揺れが落ち着くまで待機 (近隣空地の活用も含めた重層的な安全対策)
地域住民	校庭に一時待機 ↓ 建物の安全確認後、体育館を中心に全体を活用	近隣空地で一時待機 ↓ 建物の安全確認後、体育館を中心に全体を活用

# 防災に関する考え方について

## ②近隣火災時

	地上校庭案	屋上校庭案
児童	校庭へ避難 ↓ 広域避難場所へ避難	体育館へ避難 ↓ 広域避難場所へ避難
地域住民	広域避難場所へ避難	広域避難場所へ避難

# 防災に関する考え方について

## ③学校火災時

	地上校庭案	屋上校庭案
児童	校庭または 近隣空地等へ 一時避難 ↓ 広域避難場所へ避難	近隣空地等へ 一時避難 ↓ 広域避難場所へ避難
地域 住民	-	-

# 防災に関する考え方について

## ■炊き出し

- ・敷地内1Fの空地スペース
- ・地上校庭案・屋上校庭案とも、校庭は人工地盤  
→舗装材の種類、工夫により校庭でも可能

## ■救援物資

- ・2tトラックにて震災救援所へ運ぶ  
→両案とも地下駐車場、敷地内スペース、  
中杉通りでの一時駐車等で物資受け入れ可能